

### 新型コロナ

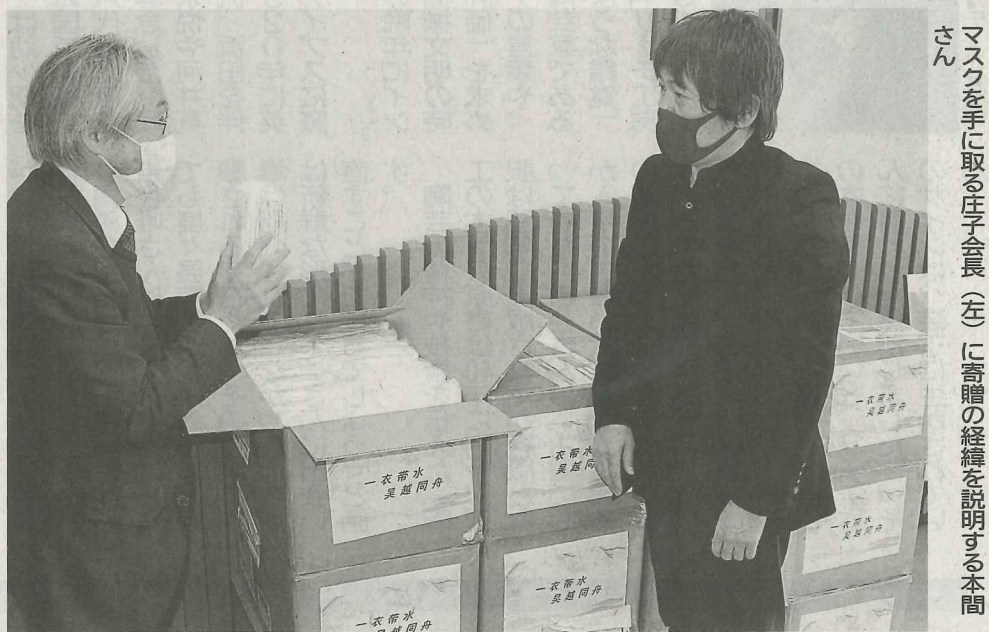
# 中国からマスク3万枚

## 仙台的老人福祉施設へ

新型コロナウイルスの感染拡大でマスク不足が続く中、仙台市青葉区の設計事務所社長本間貴史さん(54)は11日、市老人福祉施設協議会に使い捨てマスク3万枚を寄付した。中国の篤志家から託されたという。

### 設計事務所社長 本間さんに託される

本間さんは11日午前、マスクが入った段ボール12箱を、協議会の庄子清則会長(61)が理事長を務める社会福祉法人青葉福祉会(青葉区)に届けた。庄子会長は「底をつきかけていた施設もあり、本当にありがたい」と感謝した。マスクは協議会に属する特別養護老人ホームなど比較的大規模な約50施設に配られ、それらを通じてさらに小さな施設にも行き渡らせる。職員に着用させ、介護する高齢利用者らへのまん延を防ぐ。中国の篤志家は上海近郊に住み、日本への留学経験があるという男性、費鑫さん。中国の篤志家は上海近郊に住み、日本への留学経験があるという男性、費鑫さんがあるという男性、費鑫さんがあるという男性、費鑫さん



マスクを手取る庄子会長(左)に寄贈の経緯を説明する本間さん

高い高齢者施設への寄贈を決めた。本間さんは「状況は予測

# 家造り技術縁引き寄せ

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、仙台市老人福祉施設協議会にマスク3万枚が贈られた。中国の男性が、面識のない仙台市の設計事務所社長本間貴史さん(54)に託した善意。本間さんが磨いた高齢者の家造り技術が国境を超えた縁をたぐり寄せた。



本間貴史さん

本間さんは2011年に中国でのビジネスに着手し、16年に上海事務所を開設。ハウジング需要が急増する現地で、マンションのインテリア設計などを請け負った。特に、得意分野である福祉や介護など高齢者に優しい技術を提案した。

中国は落ち着きを取り戻しつつあるものの、日本からの渡航制限が続く。当局発表の感染者数や死者数に、国際社会から疑念が持たれている。それでも「民間交流が絶えることはない。日本の設計技術を中国に伝えることが自分の使命」と本間さん。名前以外は何も明かしてくれないという費鑫さんに対し「マスクは確かに高齢者施設に渡したと伝えたい」と話した。

## 現地のテレビ出演きっかけ

上海の大手テレビ局が注目

## 高齢者に配慮篤志家感銘

## 「日中民間交流は絶えず」

## 大河原町 観光・教育手厚く配分

一般会計は前年度当初比3・8%増の89億3200万円で、観光や教育分野などへの配分に力を入れた。

町の観光シンボル「一目千本桜」が並ぶ白石川右岸河川敷のウォーキング・サイクリングロード整備の一環として、周辺道路の舗装工事に取り組む。昨年度に続いて一目千本桜のブランド化事業を進め、海外など

主な事業 (単位・万円)	
◇白石川右岸道路改良	7,711
◇一目千本桜ブランド化	2,383
◇金ヶ瀬小グラウンド改修	270
◇大河原中体育館整備	4,500
◇外国語指導助手派遣	1,586

## 村田町 道の駅に非常用電源

2月の財政非常事態宣言発令後の編成となった一般会計は、前年度当初比3・7%減の総額49億6869万円の緊縮型となった。

予算編成で財政調整基金(財調)を取り崩した結果、残高は約7500万円となった。国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された町中心部「蔵の町並み」の保存事業も休止した。

主な事業 (単位・万円)	
◇公民館照明LED化	603
◇むらた子どもの心のケアハウス整備	1,510
◇防災対策 (河川・排水機場改修)	3,560
◇道の駅非常用電源装置整備	800
◇子ども医療費助成	3,500

## 災害時の電力EV供給 七ヶ浜町、宮城三菱と協定



七ヶ浜町は10日、宮城三菱自動車販売(仙台市)と災害時などの協力協定を結んだ。同社は町の要請を受け、近隣の販売店に配備する電気自動車(EV)と給電装置を貸与する。避難所などでの電力確保に充てることができる。

千田茂穂社長は「町役場である、寺沢薫町長が被災時は停電対策としてEVを最大限活用してほしい」と話した。

## 2020年度 展望 市町村予算

みやぎ

街ひと話題



熊谷 敏さん(60) 仙台市八乙女小元校長

### 「ありがとう」を伝えたい

八乙女小の皆さん元気ですか！3月2日から学校が休みになり、直接皆さんの前であいさつをすることができなかったため、新聞を通してメッセージを送ります。学校では3月からランドセルを背負って登校する子どもたちの姿が見られなくなり、今まで当たり前のように廊下

メッセージ、写真、動画は河北新報の特設サイト「春休みの君へ 学心ナビ」でも公開します。連絡先は河北新報社 pr@pk.hokoku.co.jp